

▼かわいいダンスに会場が癒されました(二小)



▲2人で力を合わせて走り抜け(一小)



練習の成果は…

=一小スポーツフェスティバル、二小運動会=

5月11日(土)、鳥見山陸上競技場で第一小学校(石山晃司校長)のスポーツフェスティバル、5月25日(土)、第二小学校(熊田智仁校長)で運動会が行われました。

両日とも晴天に恵まれ、多くの保護者や家族の応援の中、玉運びや綱引き、リレーなどの種目が行われ、会場は盛り上がりを見せていました。

児童たちは、個人種目の部では自分の力を信じて、紅白対抗団体種目や紅白対抗リレーでは仲間を信じて一丸となって頑張りました。

結果は、一小は引き分け、二小は白組が勝利を取りました。

地域産物で復興を目指して

=第2回ファーマーズマーケット=

鏡石ファーマーズマーケット実行委員会(今泉文克実行委員長)による第2回ファーマーズマーケットが5月26日(日)、岩瀬牧場大駐車場で行われました。

当日は、岩瀬牧場、岩瀬農業高校、松葉屋農園、共生かがみなど町内外から22店が出店し、野菜や果物、乳製品、スイーツなどが販売され大盛況でした。

なお、第3回ファーマーズマーケットは6月23日(日)に同会場で行われる予定です。



▲たくさんの来場者で会場はにぎわいました

楽しく学んだ交通安全

=交通安全教室=

町交通安全母の会(上野敏子会長)は、5月10日から17日にかけて、町内の幼稚園・保育所の4箇所交通安全教室を行いました。

教室では、ミニ信号機を使った横断練習や実際に路上を歩いている指導、ボランティアの橋本ゆう子さんによる交通安全腹話術が行われ、子ども達は楽しみながらも交通安全がとても大事だということを学んでいました。



▲手を大きく挙げて横断します(鏡石保育所)

まちの話題フォトアルバム

田植えだエイエイオー!

=田んぼアート田植え祭り=

田んぼアート実行委員会(遠藤栄作実行委員長)による田んぼアートの田植え祭りが5月26日(日)に町図書館北側水田で開催されました。

当日は、実行委員会構成団体や一般参加者約200人が協力して田植えを行いました。当日は晴天の田植え日和の中、参加者は心地よい汗をかきながら、作業終了後には鏡石町ヘルスメイトのみなさんが調理した鏡石町産特別栽培米「牧場のしずく」で作ったおにぎりや豚汁をみんなでおいしくいただきました。

なお、田んぼアートは6月中旬から図書館4階でご覧になることができます。



▲泥だらけになっても楽しく田植え

長年の功績へ感謝

=故 藤島良孝氏へ叙勲=

1月に逝去された元町議会議長の故・藤島良孝氏(享年85歳)への死亡者叙勲(旭日単光章)伝達式が5月8日(火)に役場で行われました。

式では、熊本俊博県中地方振興局長が孫の藤島良彦さんに勲記と勲章を手渡しました。

藤島良孝氏は、昭和45年から平成3年までの6期約21年間、町議会議員を務め、昭和58年5月から4年間は議長として活躍され、町の発展へ多大な貢献をされました。



▲熊本局長から勲章を受ける藤島良彦さん

スポーツで元気いっぱい

=ふれあいスポーツ祭=

5月28日(火)、鳥見山野球場で第24回高齢者ふれあいスポーツ祭が行われ、今年も町内行政区の老人クラブ12チーム、約400人の高齢者が参加しました。

当日は参加したみなさんの元気いっぱい競技する姿や笑顔があふれる中、鏡石幼稚園児によるかわいいダンスが会場をより一層盛り上げました。

優勝 豊郷区 準優勝 さかい区
第3位 鏡田区 第4位 成田区 第5位 笠石区



▲スポーツを楽しむ高齢者のみなさん

今月の健康メニュー

「キャベツの芯のきんぴら」

さまでおうちで簡単料理

エコ料理とは、地球環境のことを考えて、買い物・調理・片づけをすることです。買い物は自宅にある食材を確かめてから行くことで、無駄な食材を買わずにゴミの量を減らすことができます。調理では、皮や芯まで丸ごと使うことで生ゴミを減らし、鍋やフライパンに蓋をすることで電気やガスの消費を減らすことができます。また片づけでは、水を出しっぱなしにしないこともエコになります。エコ料理の実践で地球温暖化の原因のCO₂も削減できます。

●白ごま少々

《作り方》

- ①プロッコリーとキャベツの芯は薄く斜め切りにします。
- ②フライパンにごま油を熱して赤唐辛子の輪切りを入れ、香りが立ったら①を入れて炒めます。
- ③みりんとしょうゆで味付けをして、器に盛り、ごまをふりかけます。

《材料》 2人分

- プロッコリーの芯 1株分
- キャベツの芯 3枚分
- 赤唐辛子少々
- ごま油大さじ1
- みりん大さじ1
- しょうゆ大さじ2

